

# 第39回全国高等学校総合文化祭

開催期日 平成27年7月28日(火)～8月1日(土)



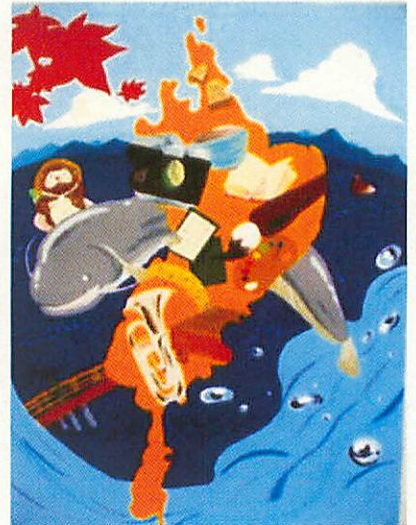
(大会シンボルマーク)

2015 滋賀 びわこ総文 (大会愛称)

新しい文化の創造の翼を  
さらぬく 湖から

(大会テーマ毛筆表現)

文教・警察常任委員会資料  
平成25年(2013年)6月21日  
教育委員会事務局学校教育課



(大会ポスター原画)

## 大会基本方針

「豊かな湖 琵琶湖」のもと、古(いにしえ)からの文化と美しい自然に恵まれた滋賀県に、次代を担う高校生が集い、多くの仲間と交流し、創造性に満ちた芸術文化活動を展開します。

「つくる」「きわめる」「つなげる」「ひろめる」

若さと感性あふれる芸術文化を創る 伝統文化を土台に質の高い表現を追求する 文化の交流を通して、友情の絆をつなげる 滋賀大会の成果を全国、世界に広める

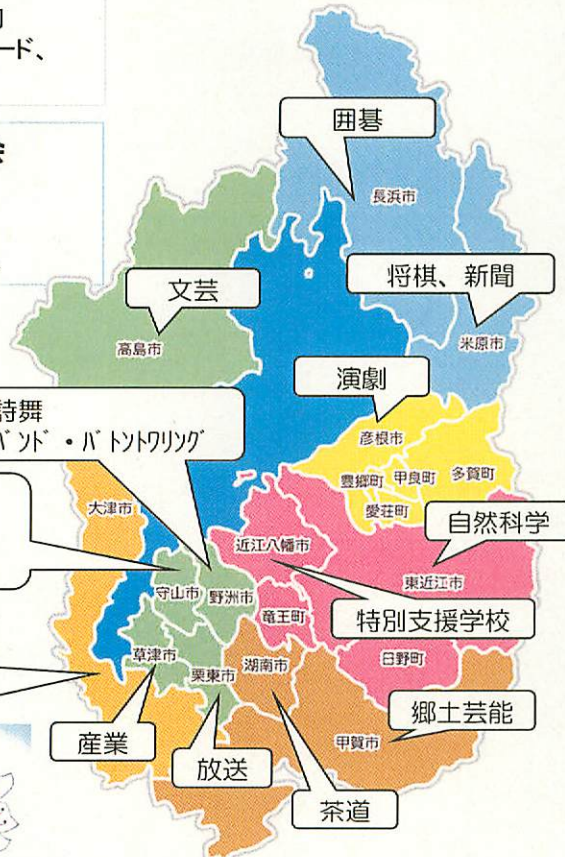
平成25年 部門強化、広報  
芸術文化活動の促進・普及

平成26年 プレ大会  
10月下旬～11月上旬  
総合開会式、パレード、各部門大会

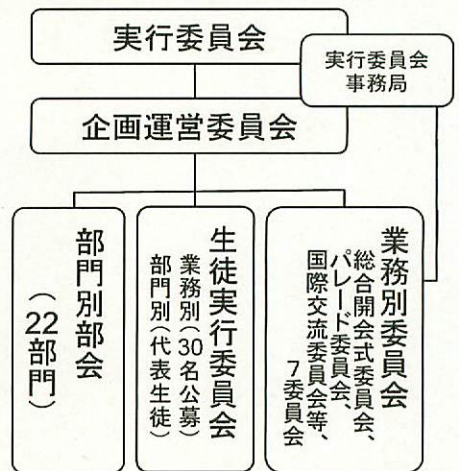
平成27年 滋賀大会  
大会規模  
高校生 約2万人  
観覧者 約10万人

## 開催部門の会場 13市

- 公式部門 19
- 協賛部門 3(特別支援学校、産業、茶道)



## 高総文祭滋賀大会組織図



## 第1回滋賀県実行委員会

平成25年6月12日(水) コラボしが21

- 設立会 13:30～13:50
- 実行委員会 14:00～15:00

議事、報告事項  
公募作品最優秀賞受賞者表彰  
(表彰・写真撮影)  
高校生の芸術文化活動発表

- ◇実行委員会委員◇  
名誉会長(滋賀県知事)  
名誉副会長(文化庁次長、全国高文連会長、開催市長)  
会長(滋賀県教育委員会教育長)  
副会長(県教育次長、高文連会長、開催市教育委員会教育長、他)  
委員(関係各課長等、各部門部長、他)

## 国際交流事業

平成26年度 レセプション1か国招へい  
平成27年度 滋賀大会 3か国招へい

## 開会行事 7月28日(火)

総合開会式 13:00～  
県立芸術劇場びわ湖ホール  
パレード 17:30～  
琵琶湖を臨むコース



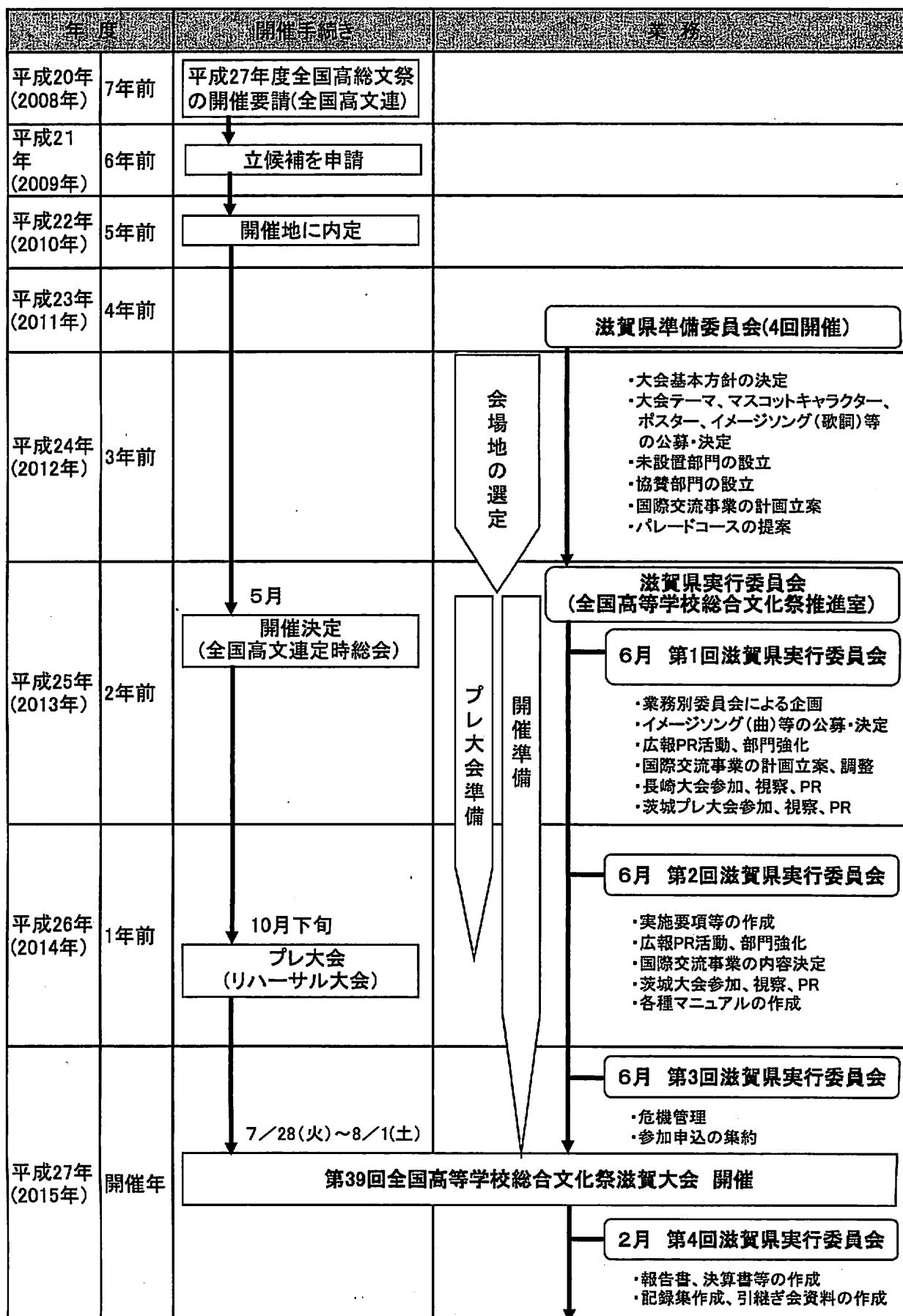
(大会マスコットキャラクター原画)

開催会場および日程一覧

NO	開催部門	主会場	所在地	実施日程(平成27年7月~8月)				
				28 火	29 水	30 木	31 金	1 土
1	演劇	ひこね市文化プラザ	彦根市			○	○	○
2	合唱	びわ湖ホール	大津市			○		
3	吹奏楽	守山市民ホール	守山市				○	○
4	器楽・管弦楽	守山市民ホール	守山市	○	○			
5	日本音楽	びわ湖ホール	大津市				○	○
6	吟詠剣詩舞	野洲文化ホール	野洲市					○
7	郷土芸能	甲賀市あいこうか市民ホール 甲賀市碧水ホール	甲賀市		○	○	○	
8	マーチングバンド・ バトントワリング	野洲総合体育館	野洲市			○		
9	美術・工芸	県立近代美術館 野洲文化ホール	大津市 野洲市	○ ○	○	○	○	○
10	書道	県立体育館 県立武道館	大津市	○	○	○	○	○
11	写真	大津市民会館・公民館 ピアザ淡海	大津市	○	○	○	○	○
12	放送	栗東芸術文化会館さきら	栗東市				○	○
13	囲碁	長浜ロイヤルホテル	長浜市			○	○	
14	将棋	県立文化産業交流会館	米原市	○	○			
15	弁論	大津市生涯学習センター	大津市		○	○		
16	小倉百人一首かるた	守山市民体育館	守山市		○	○	○	
17	新聞	県立文化産業交流会館 米原市公民館	米原市	○	○	○	○	○
18	文芸	高島市民会館 今津東コミュニティセンター	高島市	○	○	○	○	○
19	自然科学	八日市文化芸術会館 大津市民会館・公民館	東近江市 大津市			○	○	○
20	(協賛) 特別支援学校	県立男女共同参画センター	近江八幡市		○	○	○	○
21	(協賛) 産業	県立琵琶湖博物館	草津市			○	○	○
22	(協賛) 茶道	石部文化ホール、善水寺	湖南市		○			



## 第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会 開催準備全体スケジュール



第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会 平成25年度スケジュール

年度	月	全 体	業務別委員会	生徒実行委員会	部門別部会
H25	4		[業務別委員会設置] (年:1~5回) ・総務委員会 ・総合開会式委員会 ・パレード委員会 ・広報デザイン委員会 ・国際交流委員会 ・記録イベント委員会 ・危機管理委員会		随時開催 22部門組織体制整備
	5	第1回企画運営委員会 (5/13・月) 全国高等学校文化連盟定時総会 滋賀県開催決定 (5/28・火)		生徒業務別委員会 委員の公募・選考	部門別部会代表者会議 実参加要領 作成
	6	第1回滋賀県実行委員会 (6/12・水)	大会概要の企画・検討		生徒部門別部会設置
	7	第37回全国高等学校総合文化祭 長崎大会 (7/31・水~8/4・日)	業務別委員会	各部門の取組 取組内容の企画立案	講師招へい・研修会等実施
	8				
	9				
	10	第38回全国高等学校総合文化祭 茨城プレ大会 (10/12・土~13・日)	業務別委員会		滋賀県高等学校総合文化祭
	11	第2回企画運営委員会 (11/12・火)			部門別部会代表者会議
	12	平成26年度国際交流校 (1か国から招へい) 招へい校訪問・調整			
	1	宿泊・輸送幹旋業者選考	業務別委員会		部門別部会代表者会議
	2	第3回企画運営委員会 (2/17・月)			
	3				500日前イベント

平成26年度  
 ・第2回滋賀県実行委員会  
 ・プレ大会の開催  
 ・参加要項等全国配付  
 ・国際交流事業



平成27年度  
 ・第3回滋賀県実行委員会  
 ・第39回滋賀大会開催  
 ・第4回滋賀県実行委員会  
 ・引継ぎ会

## 第39回全国高等学校総合文化祭「大会基本方針」等について

### 1 大会基本方針

「豊かな湖 琵琶湖」のもと、古いにしえからの文化と美しい自然に恵まれた滋賀県に、次代を担う高校生が集い、多くの仲間と交流し、創造性に満ちた芸術文化活動を展開します。

地域を結び国の枠を超えて生み出された芸術文化が、人びとの元気と活力の源となることを目指し、未来を拓く文化の祭典を開催します。

#### 「つくる」

万葉の時代から幾多の歌に詠まれ、紫式部や松尾芭蕉などの文人ゆかりの地でもある湖国滋賀は、多くの人びとに愛され、文化を生み出してきた場所でありました。いま、この地を舞台に、高校生の手による、若さと感性あふれる芸術文化を創り出します。

#### 「きわめる」

湖国滋賀の人びとは、祭や芸能などの優れた文化や、美術工芸などの匠の技を大切に受け継いできました。私たちもまた、この地に今も息づく芸術文化の価値を重んじ、それを生かしてより質の高い表現を追究します。

#### 「つなげる」

湖を抱くこの地で、湖国滋賀の人びとは、近江聖人・中江藤樹ちりょうちの「致良知（良知にいたる）」の教えのように、美しい心を持って相手を思いやり、互いに認め合い尊敬し合いながら、生きてきました。いま、この地に多くの人びとが集い、新たな出会いと文化の交流を通して、友情の絆をつなげます。

#### 「ひろめる」

かつて近江商人さんぼうは、「三方よし」の精神を胸に各地を訪ね、近江のものや心を伝えました。いま、湖国滋賀の風土に芽生えた新しい芸術文化が、未来に向かって大きく育つよう、この文化祭の成果を、全国そして世界へと広めます。

\*「致良知」…良知（生まれながらにして持っている美しい心）を曇らせないために、なごやかな顔つきで人と接し、思いやりある言葉で話しかけ、澄んだ目で見つめ、人の話によく耳を傾け、まごころを込めて相手を思いなさい、という教え。

\*「三方よし」…「売り手よし、買い手よし、世間よし」という、近江商人の理念。売り手と買い手が満足するだけでなく、世間のためにもなるのがよい取引だということ。他者への思いやりによって、社会全体が活性化してほしいという思いを込めてこの言葉を基本方針に取り入れています。

### 2 大会愛称

2015滋賀 びわこ総文

### 3 大会テーマ（応募点数：649点）

「<sup>と</sup>翔びたとう 創造の翼で きらめく<sup>うみ</sup>湖から」

制作者： 県立彦根東高等学校 普通科 2年 鈴木 亮大さん

制作意図： 滋賀県で高校総合文化祭がひらかれて、文化的な活動が活発に行われるようすを表現しました。

選考理由： 基本方針に合致しており、湖（うみ）の表現などが滋賀県をイメージさせる内容である。「翔びたとう」という表現がとてもポジティブで、明るい未来を想像させる。

### 4 大会マスコットキャラクター原画（応募点数：204点）



制作者： 県立信楽高等学校 デザイン科  
3年 山岸 真奈絵さん

制作意図： 滋賀の花のしゃくなげをモチーフにデザインしました。ところどころにつぼみがあるのは、高校生のみんなの「可能性」をイメージしてデザインしたからです。

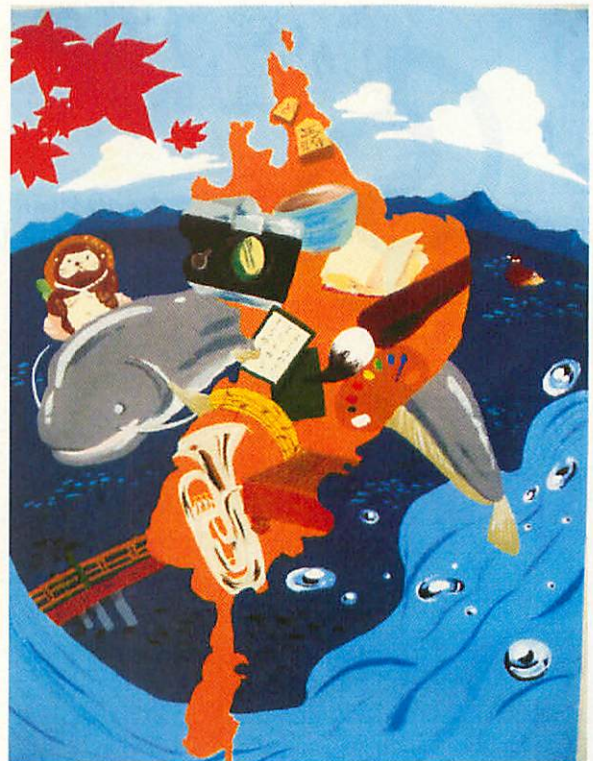
選考理由： 県花のしゃくなげをうまく取り入れ、夢を感じさせるとともに親しみのもてるキャラクターに出来あがっている。

### 5 大会ポスター原画（応募点数：34点）

制作者： 県立東大津高等学校 普通科  
2年 加賀谷 向日葵さん

制作意図： 滋賀といえば琵琶湖、そしてピワコオオナマズだと思い、真ん中に描きました。そして、周りにはカイツブリ、モミジ、信楽焼、瀬田の唐橋などと、琵琶湖に流れる水、滋賀を囲う山脈を描きました。琵琶湖の中には、高文祭ということで、行われる様々な種目のイメージを入れてみました。

選考理由： 明度の勝った色彩感が明快であり、ポスターとして適している。内容も、工夫をしながらアレンジしており、その点からも推挙できる。





## 6 大会イメージソング（歌詞）（応募点数：61点）

ありのままの僕らで

〈1番〉

顔をあげて 希望をもって  
信じてみよう 僕らの未来を  
きっとこの先に光りがあると信じて  
僕らの努力の分の笑顔があると  
ふみ出そう 輝くステージへ  
ありのままの 僕らを伝えよう  
迷わないで あきらめないで  
ここには 仲間がいるから

〈2番〉

うつむかないで 勇気をもって  
信じてみよう 僕らの絆を  
辛い事も悲しい事も一緒に  
のりこえてきた仲間がそばにいるから  
ふみ出そう 輝くステージへ  
ありのままの 自分を伝えよう  
迷わないで あきらめないで  
僕には 仲間がいるから

制作者： 県立草津高等学校 普通科 1年 源古 碧さん

選考理由： タイトルと歌詞のリズムがよい。これからステージに向かう高校生の心情がうまく表されている。

## 7 大会テーマ毛筆表現（応募点数：69点）

翻つてはと創造の翼で  
すらく湖から

制作者： 県立膳所高等学校 普通科  
2年 廣瀬 茜さん

選考理由：

一見してほのぼのとした感じで、毛筆表現の特色を充分発揮している。

読み易くと言うよりも、筆、墨、紙の生み出す特色を生かしながら、筆圧の強弱と字形の特長を巧みに組み合わせ、終始一貫したリズムでまとめ上げている。

全体構成から見た文字の置き方にも、若さの持つセンスを感じる。

## 8 大会シンボルマーク



水鳥の羽ばたきのように、集まった若き文化の芽が大きく羽ばたいていくようにという願いを込めて。 色：高文連マークの青 DIC 577

制作： 滋賀県高等学校文化連盟美術・工芸部会

## 9 大会イメージカラー



DIC 2236p シヤクナゲの淡い紅色



DIC 2171p 湖面の白波/もしくは比良、伊吹の雪



DIC 184p 琵琶湖の深い青

琵琶湖の浅瀬、深淵、四季折々に変化する色合いを青の濃淡で表現しています。

そこへ県の花である石楠花の淡い紅色を配し、やさしくさわやかな配色にしています。

制作： 滋賀県高等学校文化連盟美術・工芸部会